

芝田 禮二 議員

学校のいじめの状況は

Q 問 新しい定義による本市のいじめ調査の結果、認知した学校数と件数は。

A 答 18年度は、小学校33件、中学校15件の報告があった。現在、徳育を基盤とした学校づくり、命の大切さや思いやりの心を育てるための指導の充実やいじめのサインを見逃さないための取り組みを行っている。

来年度予算の編成方針は

Q 問 平成20年度当初予算の編成の重点は。

A 答 (仮称)地域交流プラザ整備事業などの大型事業、協働のまちづくり、教育環境整備、医療福祉の充実、健康づくりや環境に配慮した諸施策など、日本一健康文化都市の実現に向けて確実に一歩進める編成とする。

高橋 美博 議員

妊婦健康診査の公費負担回数を増やす考えは

Q 問 「最低限5回は必要」との厚生労働省通達をどう受け止めているか。

A 答 県下統一方式の5回に加え、上乗せ実施について、今後、医療機関との調整を図り検討する。

地産地消の取り組みで地域農業の振興を

Q 問 各地の事例に学び、「地産地消」宣言、「条例」制定、「振興ビジョン」策定などの取り組みができないか。

A 答 今後、担い手の育成や優良農地の確保、安心・安全な食糧の供給、地産地消の推進、農業資源の保全管理など、具体的な農業振興策を示す農業振興ビジョンの策定を検討する。

入れ歯リサイクルを提案する

Q 問 不要になった入れ歯リサイクルで世界の恵まれない子供たちを救う考えは。

A 答 入れ歯に含まれる貴金属を取り出し、売却益で世界の恵まれない子供たちを救う活動を行うNPO法人に協力したらどうかとの提言は、事業趣旨が有意義で、実務的な問題も少ないので、入れ歯回収ボックスの設置を前向きに検討する。



日本入れ歯リサイクル協会の「不要入れ歯回収ボックス」

Q 問 学校給食への地場産利用拡大の取り組みはどうか。

A 答 品質や安定的な供給量の確保、価格、調理の効率化など様々な課題があるが、より一層、学校給食における地場産品農作物の消費拡大を図っていきたい。また、学校給食センター運営協議会での議題とし検討したい。



袋井学校給食センター



市政に対する一般質問

よりよいまちづくりを目指して

